

(様式第4号)

## くまもとCひと・まち・いきもんネットワーク活動報告書

2023年 4月 29日

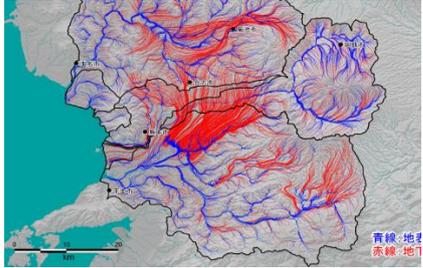
熊本市長 様

報告者 住所 熊本市中央区神水本町1-67  
氏名 大住 和佑

くまもとCひと・まち・いきもんネットワーク制度要綱第5条の規定により、くまもとCひと・まち・いきもんネットワーク活動報告書を提出します。

		みずとみどりわーきんぐぐるーぷ	登録番号	第9号
団体名		水と緑ワーキンググループ		
代表者	職名	代表	所属	<input checked="" type="checkbox"/> 市民活動団体 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	ふりがな	おおすみ かずこ		
	氏名	大住 和佑		
内容 (活動名、日時、場所、参加人数、活動内容等)		【江津湖の不思議探検 地質から見る湧き水のひみつ】 【上江津湖一帯】 【4月9日 (日)】 【講師(2名)参加人数(20名)スタッフ(4名)】 活動内容 日量57万トンとも言われている江津湖の水が湧く仕組みを、ご専門の方々から地質と地形から解き明かしていただいた。普段、何気なく感じている土地の起伏で、地下の水の流れを知ることができることに気づかされた。また江津湖に広く分布している砥川溶岩を、手に取って見られる貴重な経験もできた。		



<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>(活動名、日時、場所、参加人数、活動内容等)</p>	<p>【ネイチャーフィーリング in 江津湖】  【上江津湖・堂ノ前公園】  【4月16日(日)・自然観察指導員熊本県連絡会と共催】  【参加人数 (30名) スタッフ(20名うち、水と緑3名)】</p> <p>活動内容  障害のある人も一緒に自然観察を楽しみ、思わぬ発見に驚き感動していた。</p> <p>当会では、江津湖が地下水で成り立っていて水量が日量ほぼ57トンであること、そのために水温が18℃ほどに保たれていて、そのおかげで堂ノ前公園の脇に流れている水路に希少種のヒバイカモが見られることなどの説明をした。サントリーさんから「阿蘇の天然水」を、当会からは水を育む米粉を利用したお菓子を、それぞれに提供した。</p>  
	<p>【益城の冬水田んぼとサントリーホールディングス株式会社の水の国応援プロジェクト】  【熊本城ホール1階 展示ホール】  【4月23日(土)24日(日)】  【参加人数(約200名)スタッフ(2名)】</p> <p>活動内容  豊かな熊本の地下水を保全するための活動の中の、冬水田んぼに的を絞った。サントリーさんの、地域の小学生を巻き込んだ活動と震災被害に対する大規模な水田復興の様子を紹介。また、その冬水田んぼで作った農産物を活用したレストラン「マイトリー」さんの取り組みを紹介した。</p> <p>その場で、「冬水田んぼって知ってますか?」「生物多様性で浮かぶ言葉は?」のアンケートを取った。冬水田んぼについては、25%程度の人しか認識がなかったが、「生物多様性」については、・生き物のつながり・幸せな暮らし・豊かな生態系など、認知が進んでいることを実感した。ほかに、当会の上江津湖と上流域での観察会のパネルも展示した。(写真左は生き物調査中の津森小の子どもたち)</p>  

	<p>【在来植物の保護活動】</p> <p>【上江津湖・ゾウさんプール脇の湧水池】</p> <p>【5月1日（日）】</p> <p>【参加人数（7名）講師（2名）スタッフ（3名）】</p> <p>”江津湖では、1日約57万トンに及ぶ湧水により、珍しい生き物たちが元気に暮らしている。しかし、近年では魚類や植物などの外来種が増え、江津湖の在来種を脅かしている。今回の自然観察では、江津湖に入って外来種の水草を取ることにした。人数はすくなく、”こんな活動はやりがいがある”という声で、江津湖の生き物を守るために、また行うことを約束した。</p>
--	--

- ・ 記入欄が足りない場合、この用紙をコピーして記入してください。
- ・ 活動報告書の記載事項を満たす内容であれば、別様式でも活動報告書とみなすことができます。